

第36回オープンCAE勉強会@
自己紹介
長山昭夫

2014/02/22 14:00 to 18:00
日本イーエスアイ株式会社
(東京都新宿区西新宿6-14-1
新宿グリーンタワービル16F)

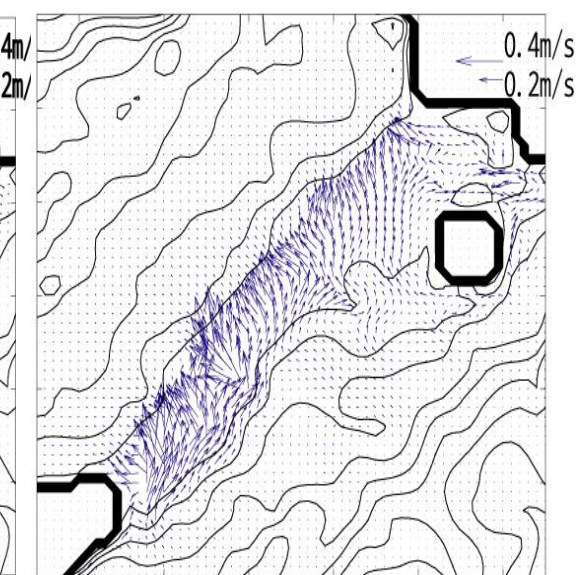
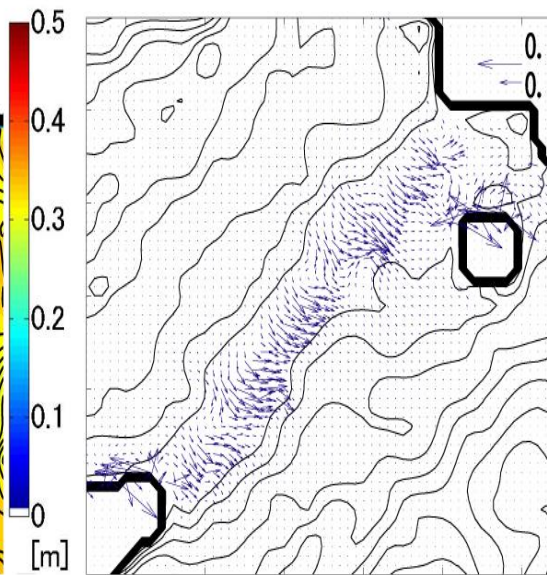
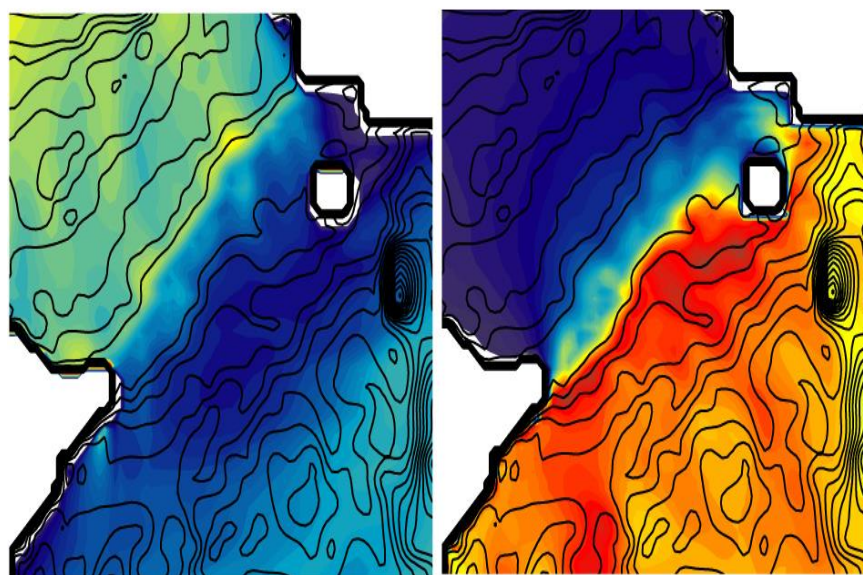
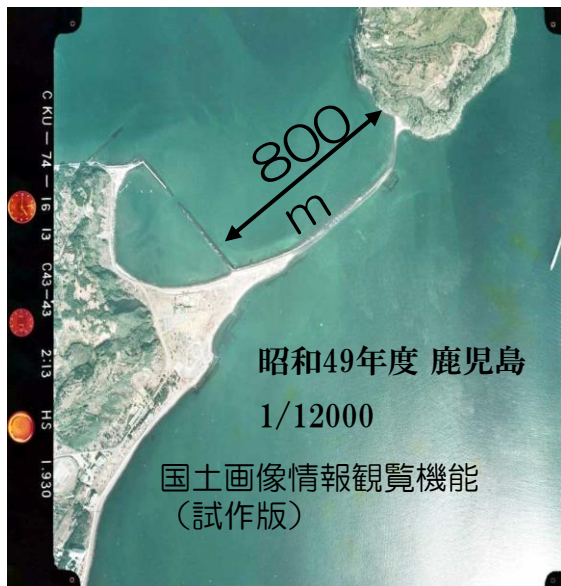
① 経歴

平成16年度
平成22年度
平成23年度
平成24年度

鹿児島工業高等専門学校 技術職員
鹿児島大学理工学研究科博士後期課程 単位取得後退学
博士(工学) 指宿知林ヶ島陸繋砂州の地形変化の力学過程に関する研究
群馬工業高等専門学校環境都市工学科 助教

専門：海岸工学(沿岸域における漂砂過程の解明)

現在：海無し県(群馬)に赴任後、河川工学を勉強中



① 経歴

水理学・流体力学における乱流の研究史と研究展望、
京都大学禰津家久名誉教授、土木学会誌3月号、1989年。
(開水路壁面乱流のバースト現象を初めて発見)

今後の水理学は、再び流体力学と接近し、融合するのではないか、
あえて区別する必要はないときが必ずや近い将来来ると著者は思う。

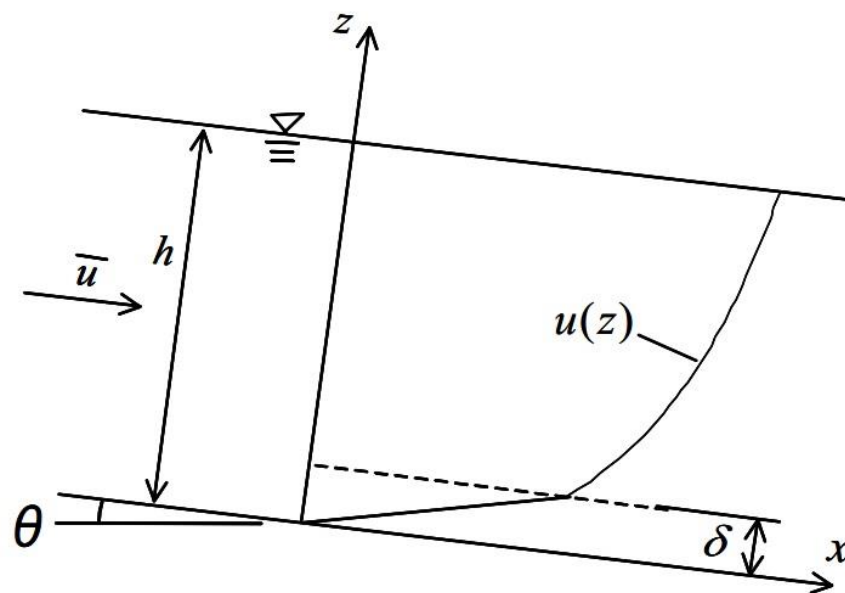
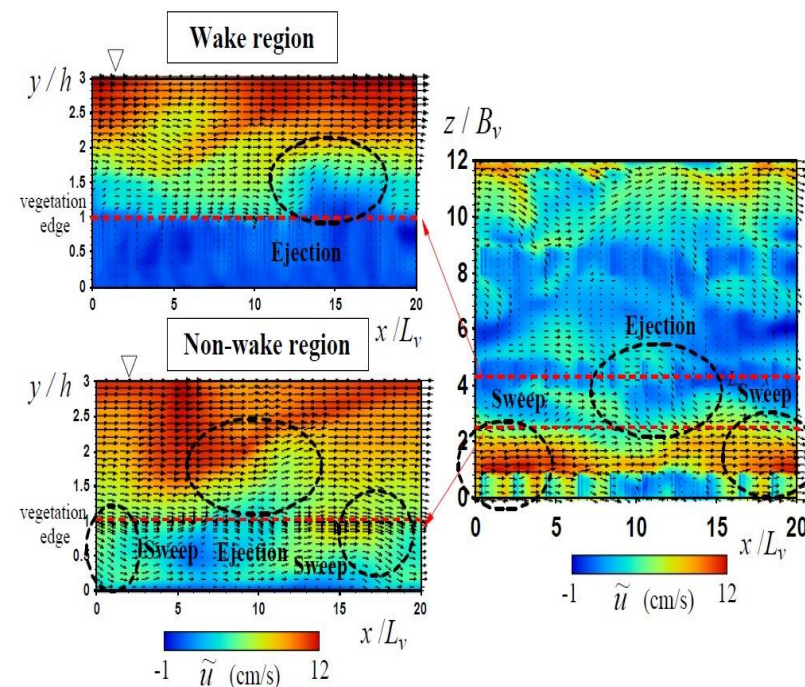


図-7.2 滑面乱流

<http://www.ritsumeai.ac.jp/se/rv/itoht/sedim-hydr/sedime-hy2.pdf#search=%E9%96%8B%E6%B0%B4%E8%B7%AF+%E6%93%BE%E4%B9%B1+%E5%AF%BE%E6%95%B0%E5%89%87>



www.ce.t.kyoto-u.ac.jp/ja/research/newsletter/5garip

②オープンCAE使用歴

OpenFOAM, ParaViewインストール完了し、
チュートリアルを勉強中

(オープンCAE勉強会の資料を参考にさせていただきました)

- ③ オープンCAEで自分が今取り組んでいる課題
- ④ オープンCAEでこれから取り組みたい課題

① 波・流れ共存下での水難者に作用する外力の算定

長岡技大等と共同、4年で結果を出す

② 橋脚の簡易補修工法施工時の流れと地形変化の推定

構造系の先生と共同、期限は2年くらい？

③ 木製水車の周りの流れの算定

水理・構造系の先生と共同、期限は2年くらい？

④ 置き土砂による開水路底面付近の擾乱域の乱流の変化の

定量的検討と水生生物に与える影響評価

未定、5年以内に目処をつけたい